

4 月度 例会 個人 山行報告書		報告者	津田 廣一	参加 メンバー	CL:津田 廣一 利栄子
		報告日	05/14		
山 域	屋久島	山行日	14 年 04 月 14 日(月)		
山 名	宮之浦&永田岳		~16 日(水)		

山行目的	屋久島の自然を楽しむ(縦走)	コースタイム(天候:天気図記号)
------	----------------	------------------

配布先
集会:12
山行:1
リーダー
原紙:集会担当者

ルート図(地図を見て正確に)

2.5 万分の 1 地図: 宮之浦岳・栗生・尾之間

4/14 雨後曇り、晴れ
10:10 紀元杉バス停発
10:45 淀川口 1 本(5分)
11:30 淀川小屋 1 本(10分)
13:15 花之江河(散策 30分)
14:30 黒味岳山頂(5分)
15:20 花之江河 1 本(5分)
16:30 石塚小屋(泊)

4/15 晴れ
04:30 起床
06:00 石塚小屋発
06:45 花之江河
07:35 投石平 1 本(5分)
09:20 栗生岳 1 本(5分)
09:55 宮之浦山頂(15分)
10:30 焼野三叉路(デポ)
11:40 永田岳山頂(10分)
12:50 焼野三叉路(15分)
13:50 展望台 1 本(5分)
14:45 新高塚小屋(泊)

4/16 晴れ
04:00 起床
05:40 新高塚小屋発
06:40 縄文杉 1 本(10分)
07:40 ウィルソン株(10分)
09:10 小杉谷山荘跡(10分)
10:10 辻の岩屋 1 本(10分)
10:35 太鼓岩(10分)
11:00 辻峠
11:30 白谷山荘 1 本(10分)
12:25 白谷雲水峡管理棟(バス亭)下山

永田岳山頂
永田岳山頂
トッポ →

〈山行報告〉1 日目;前日から雨が降り続き、ヤクスギランドからの花之江河歩道は断念。淀川口から入山と決断しカッパを着込んで、友人に、朝ゆっくり(9:30)で紀元杉バス亭まで送ってもらう。紀元杉前で写真待ちし、10:10 に雨の中を淀川登山口を目指して歩き出す。ほどなく到着し、登山道へと入っていく。ゆっくり歩くも、1hもしない内に到着(屋前)。妻も歩き足らなそうだし、時間を持って余し確実な為、先へ進み石塚小屋まで行く事にする。登り道ではあるが、ゆっくり進み、1 ピッチで花之江河へ。淀川小屋で知り合った人から、「黒味岳へ登りませんか?」とお誘い。時間もあるし、偵察にもなると思い、誘いに乗る。黒味岳への分岐を過ぎてから、ザックをデポし、黒味岳へ登るもガスの中。何も見えず。早々に頂上を後にし、石塚小屋へ向かうも、意外に遠く、途中で妻が丸太橋から滑って落下というハプニングあるも、高度がない方で難を逃れた。小屋でシドニーから来たというご夫婦(日本人妻)と会い、同時通訳で話をする。

2 日目;晴れを確信し、張り切って4時半起床。昨日の残りおむすびを雑炊にして、そそくさと腹ごしらえ。6時に小屋を出発。今日の期待感か、荷が少し軽くなったせいか、1時間弱で花之江河へ。昨日と違い、別天地である。快調に飛ばして投石平で1本(宮之浦岳まで2.6K)。投石岳・安房岳・翁岳を、次々に右手に見て栗生岳に到着。祠参りも兼ねて1本。宮之浦が、前方にはっきり見えて、降りてきた人達が、皆「もう少し」と励ましてくれる。ぐんぐんと近づいて来るのにも励まされ、9:55 に頂上へ。握手して、写真を撮ってもらって、周囲の景色を楽しむ(少し、霞んでいるが、海まで見える)。

永田岳もあるので、先を急ぐ。焼野三叉路でザックをデポし、私のサブザック一つで永田岳へ急ぐが、道が悪い。頂上付近で道がなくなり、ようやく垂れ下がったロープを見つけて頂上へ。慎重に巨大露岩を降りて元の道へ戻ると、奇妙な形の岩を楽しみながら、新高塚小屋へ。祝焼酎を1人飲んで本日の山行終了。

3 日目;早々に小屋を発ち、縄文杉・ウィルソン株・トロッコ道を楽しみつつ進

〈リーダー所見〉少しハードな縦走となるかな?という懸念もあったが、本宮山・金時山・宇連山とトレ山行を重ね、屋久島へ行きたがっていた妻との二人山行を敢行した。トレ山行のお蔭か、多少の疲れは出るも妻もへばる事なく、屋久島の山を楽しめた様だ。利尻で会った爺さんから、「宮之浦と永田岳は是非登れ!」と言われたが、本当に素晴らしい山旅だった。私達の山旅に対し、屋久島での宿と登山口までの送迎を心良く引き受けてくれた友人 H 君に感謝である。



宮之浦岳の山頂にて

確認(リーダー)
津田
14.5.13
作成(報告者)
津田
14.5.10